

## 資料2

令和5年(2023年)4月26日  
高齢者計画・介護保険事業  
計画策定部会  
高齢者いきいき課

# 各種調査の結果について

## 外出や買い物など、日常的な身体活動について、目立った減少傾向はない

Q：週に1回以上は外出していますか

年度	毎日1回以上		週5～6回		週2～4回		週1回		週1回未満		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	5,047	60.2%	1,566	18.7%	1,373	16.4%	144	1.7%	109	1.3%	151	1.8%
2019	3,464	56.4%	-	-	2,200	35.8%	218	3.6%	194	3.2%	61	1.0%

Q：自分で食品・日用品の買物をしていますか

年度	できるし、している		できるけどしていない		できない		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	7,582	90.4%	565	6.7%	188	2.2%	55	0.7%
2019	5,377	87.6%	585	9.5%	115	1.9%	60	1.0%
2016	4,938	85.6%	600	10.4%	161	2.8%	68	1.2%

## 一方で、転倒の経験や不安は増加

Q：過去1年間に転んだ経験がありますか

年度	何度もある		1度ある		ない		(未回答)	
2022	472	5.6%	1,528	18.2%	6,278	74.8%	112	1.3%
2019	219	3.6%	1,159	18.9%	4,686	76.4%	73	1.2%
2016	261	4.5%	1,117	19.4%	4,298	74.5%	91	1.6%

Q：転倒に対する不安は大きいですか

年度	とても不安である		やや不安である		あまり不安でない		不安でない		(未回答)	
2022	1,035	12.3%	3,129	37.3%	2,578	30.7%	1,512	18.0%	136	1.6%
2019	527	8.6%	2,051	33.4%	1,703	27.7%	1,739	28.3%	117	1.9%
2016	589	10.2%	1,879	32.6%	1,603	27.8%	1,589	27.6%	107	1.9%

## 口腔・栄養に関するリスクは増加傾向

Q:半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

年度	はい		いいえ		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	2,192	26.1%	6,104	72.8%	94	1.1%
2019	1,572	25.6%	4,505	73.4%	60	1.0%
2016	1,550	26.9%	4,133	71.7%	84	1.5%

Q:口の渇きが気になりますか

年度	はい		いいえ		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	2,028	24.2%	6,285	74.9%	77	0.9%
2019	1,344	21.9%	4,653	75.8%	140	2.3%
2016	1,299	22.5%	4,355	75.5%	113	2.0%

Q:お茶や汁物等でむせることがありますか

年度	はい		いいえ		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	2,211	26.4%	6,086	72.5%	93	1.1%
2019	1,357	22.1%	4,705	76.7%	75	1.2%
2016	1,147	19.9%	4,535	78.6%	85	1.5%

Q:6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

年度	はい		いいえ		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	1,141	13.6%	7,131	85.0%	118	1.4%
2019	687	11.2%	5,308	86.5%	142	2.3%
2016	714	12.4%	4,841	83.9%	212	3.7%

## 様々な活動への参加率が低下

各種活動に週1回以上参加している人の割合 2016 → 2019 → 2022 (未回答を分母から除いて計算)

### ボランティアのグループ

8.5% → 7.7% → 5.1%



### シニアクラブ

3.5% → 2.8% → 2.3%



### スポーツ関係のグループやクラブ

25.0% → 23.7% → 20.2%



### 町会・自治会

2.7% → 2.4% → 2.5%



### 趣味関係のグループ

24.2% → 18.3% → 14.2%



### 特技や経験を他者に伝える活動

5.5% → 4.6% → 3.9%



### 学習・教養サークル

4.7% → 4.5% → 3.7%



### 収入のある仕事

24.2% → 27.8% → 26.4%



### 介護予防のための通いの場(高齢者サロン等)

6.3% → 8.7% → 2.7%



### 週1以上参加している活動なし

35.7% → 31.7% → 39.9%

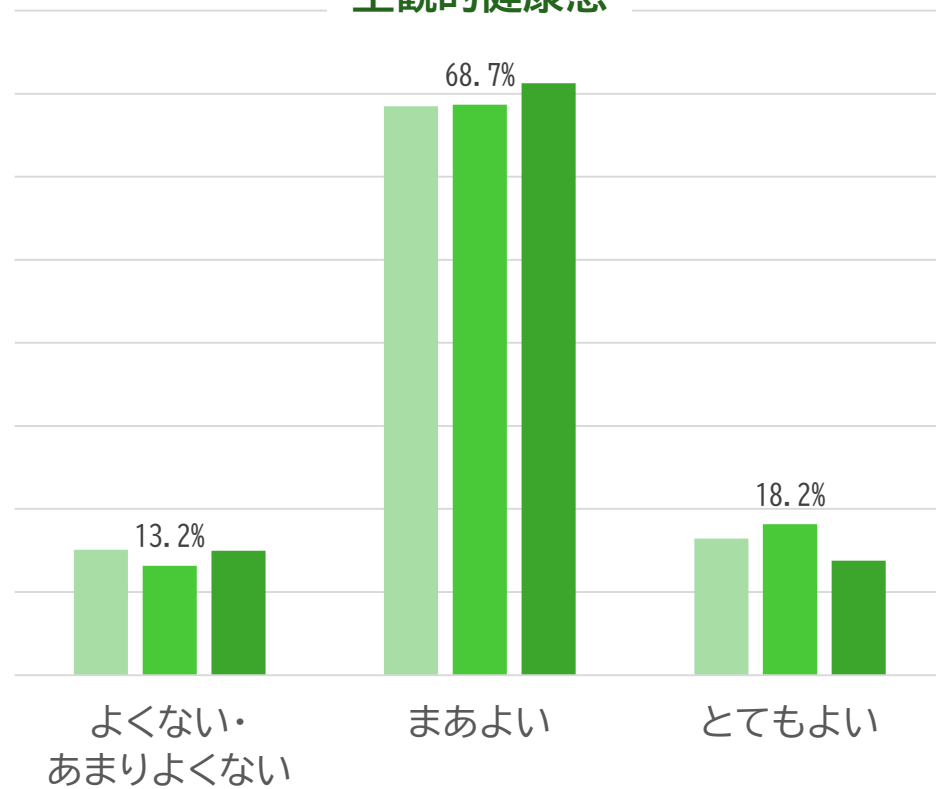


## 主観的な健康度・幸福度

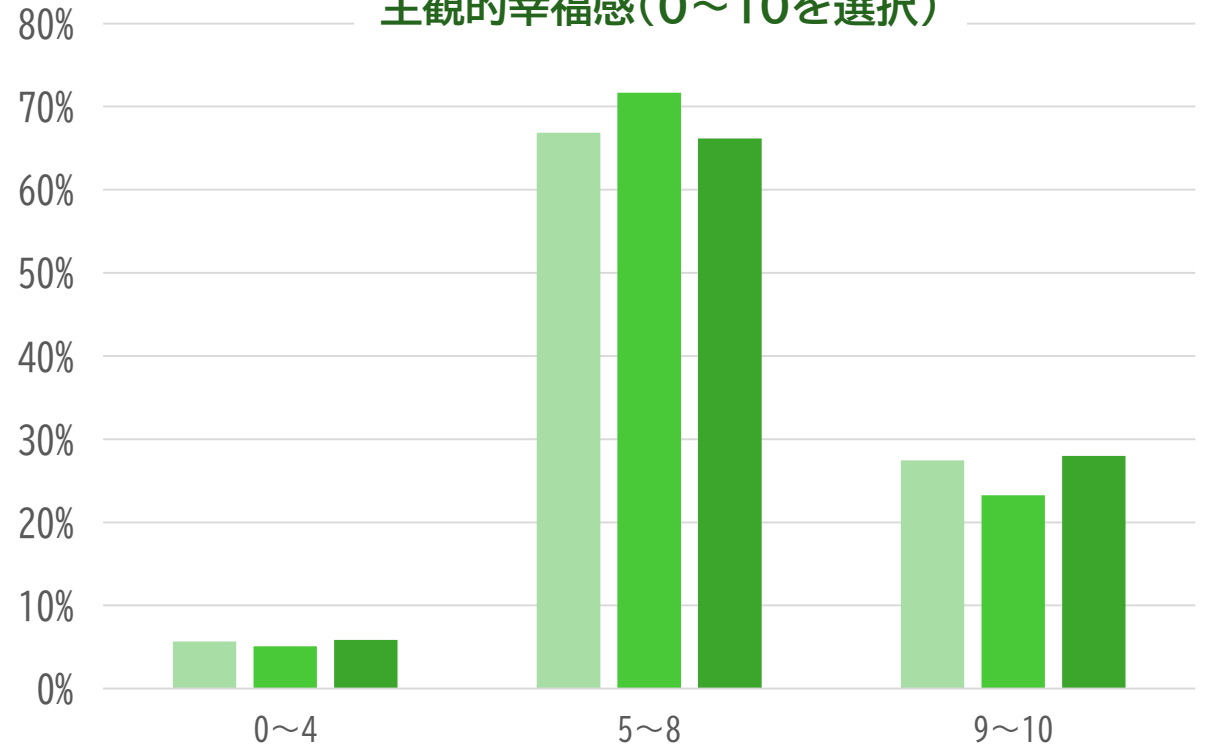
大きな変化はないが、主観的健康感はやや低下し、幸福度は微増

■ 2016 ■ 2019 ■ 2022

### 主観的健康感



### 主観的幸福感(0~10を選択)



## 認知症への理解度に関する質問

Q:認知症に関する相談窓口を知っていますか

年度	はい		いいえ		(未回答)	
2022	2,303	27.4%	5,694	67.9%	393	4.7%
2019	2,029	33.1%	4,045	65.9%	63	1.0%

Q:【新】自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか

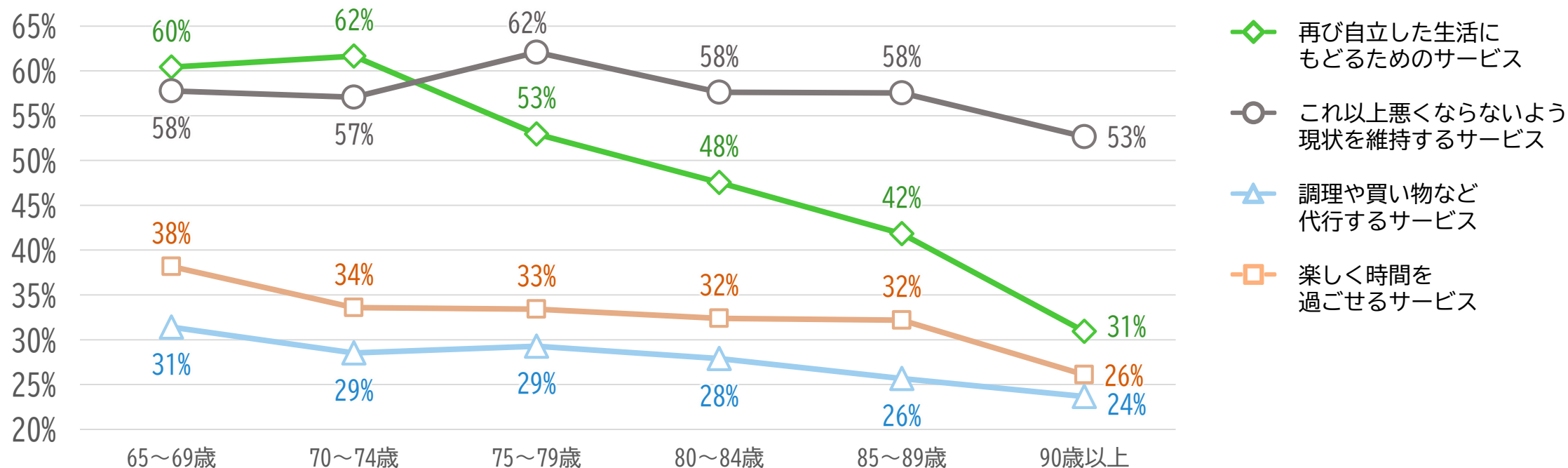
年度	そう思う		ややそう思う		どちらでもない		あまり思わない		全く思わない		(未回答)	
2022	3,078	36.7%	1,926	23.0%	1,429	17.0%	1,094	13.0%	469	5.6%	394	4.7%

Q:【新】認知症の人でも地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか

年度	そう思う		ややそう思う		どちらでもない		あまり思わない		全く思わない		(未回答)	
2022	1,889	22.5%	2,278	27.2%	2,124	25.3%	1,269	15.1%	345	4.1%	485	5.8%

## (新) 望むサービスとして、再自立と維持が高位

もし要介護などの認定を受けたら、どのようなサービスを受けたいですか(複数回答)



- 軽度者のうち再自立サービスを利用できているのは2.8%。希望とのギャップを埋める必要があるのでは？
- 実は90歳以上でも再自立は可能。年齢とともに「諦めてしまう」方への情報提供も重要では？



## (新) 重度の要介護状態になっても自宅で暮らすことを望む人が多数

Q：もし重度の要介護状態になったら、どのようなケアを希望しますか

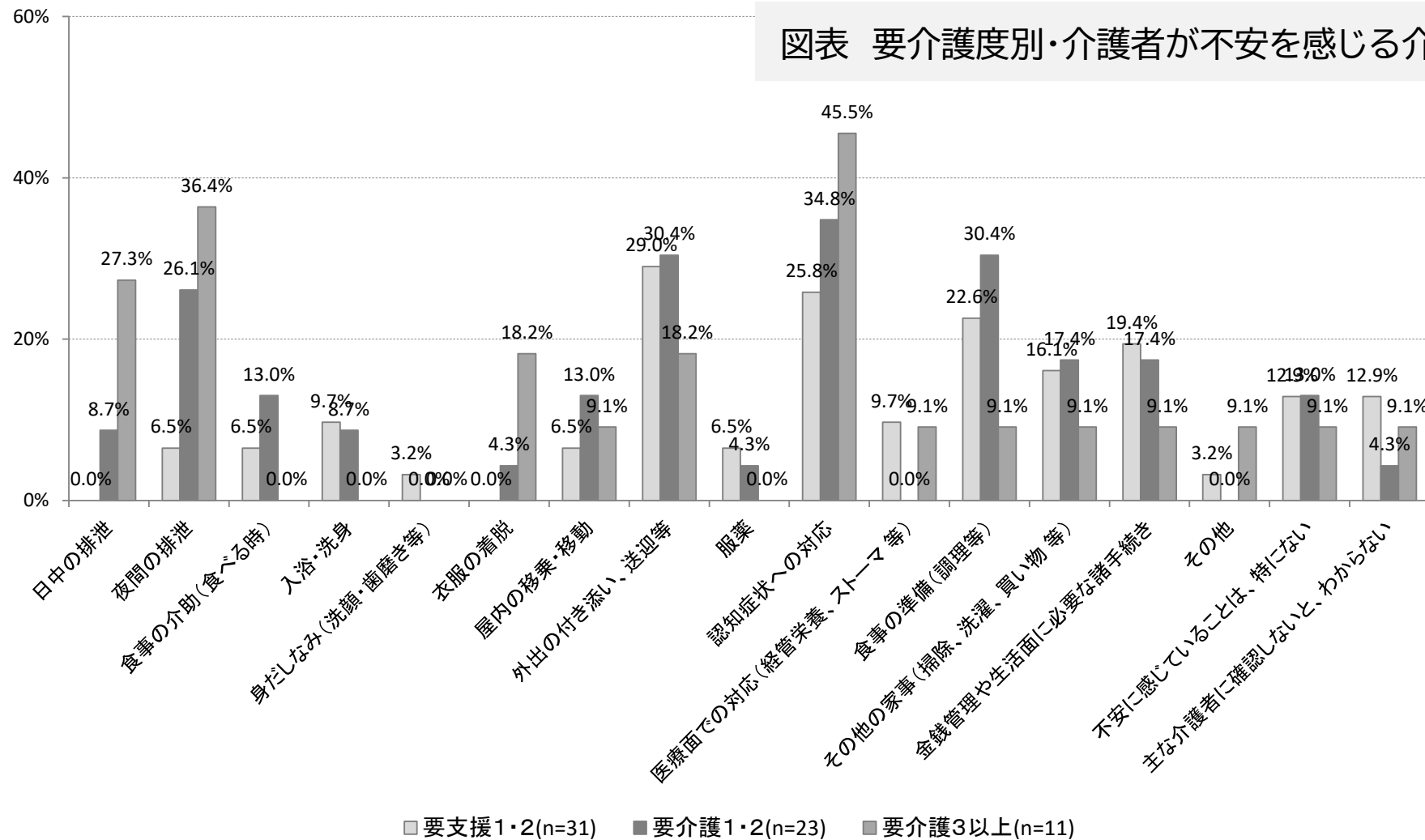
年度	家族などのケアや介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい		介護保険施設や医療機関でケアを受けたい		その他		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	3,989	47.5%	3,766	44.9%	293	3.5%	342	4.1%

## (新) 最期を迎えたい場所として、6割が「自宅」と回答

Q：将来の話として、どこで最期を迎えることを希望しますか

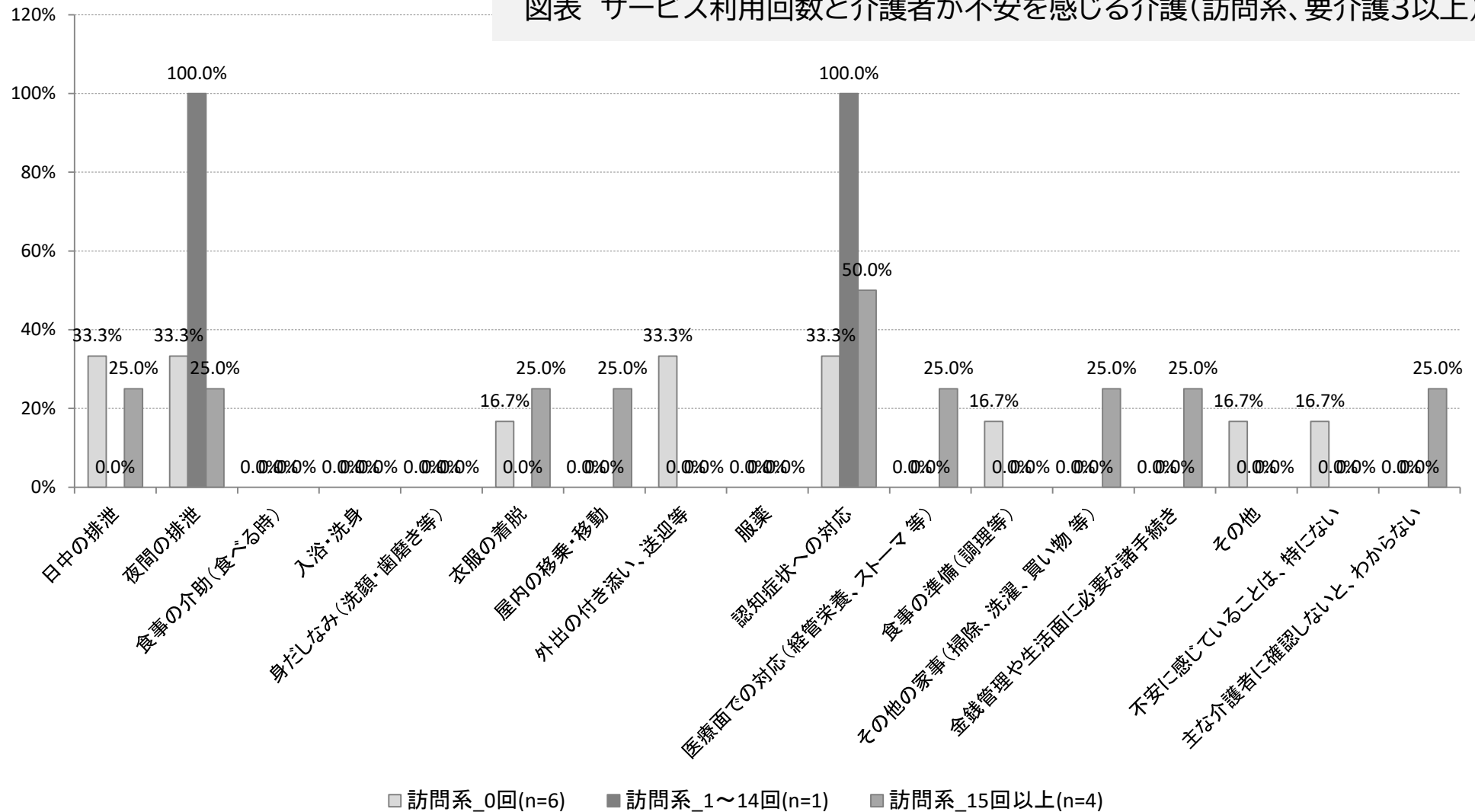
年度	自宅		介護施設		医療機関		その他		(未回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2022	4,946	59.0%	862	10.3%	1,842	22.0%	431	5.1%	309	3.7%

介護者が特に不安を感じるのは、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」



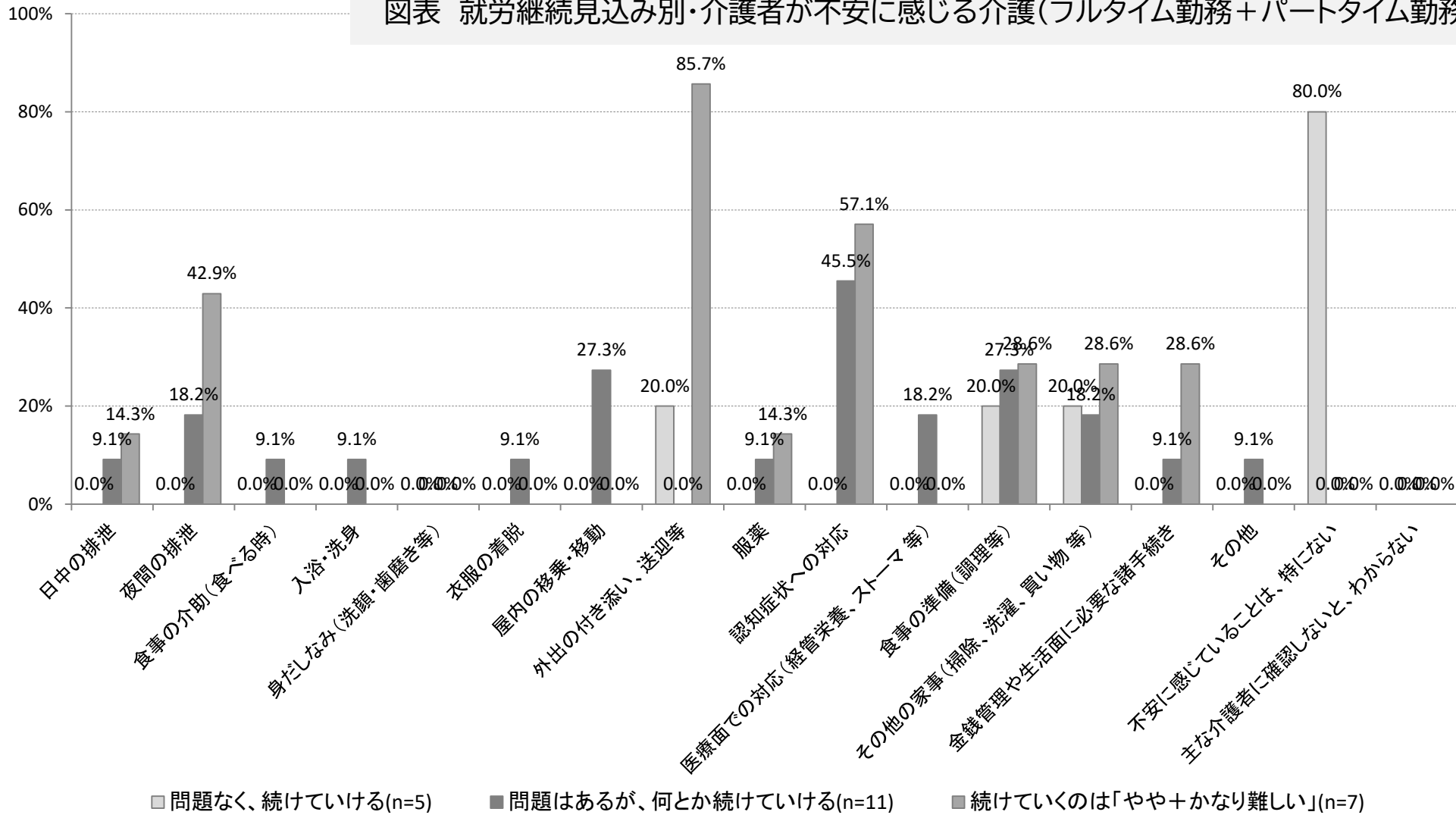
## 訪問系サービスの活用で不安を軽減できる可能性がある

図表 サービス利用回数と介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)



# 仕事と介護の両立が難しくなる要因は？

図表 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



## 訪問系サービスの活用が鍵になる可能性がある

図表 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- わからない

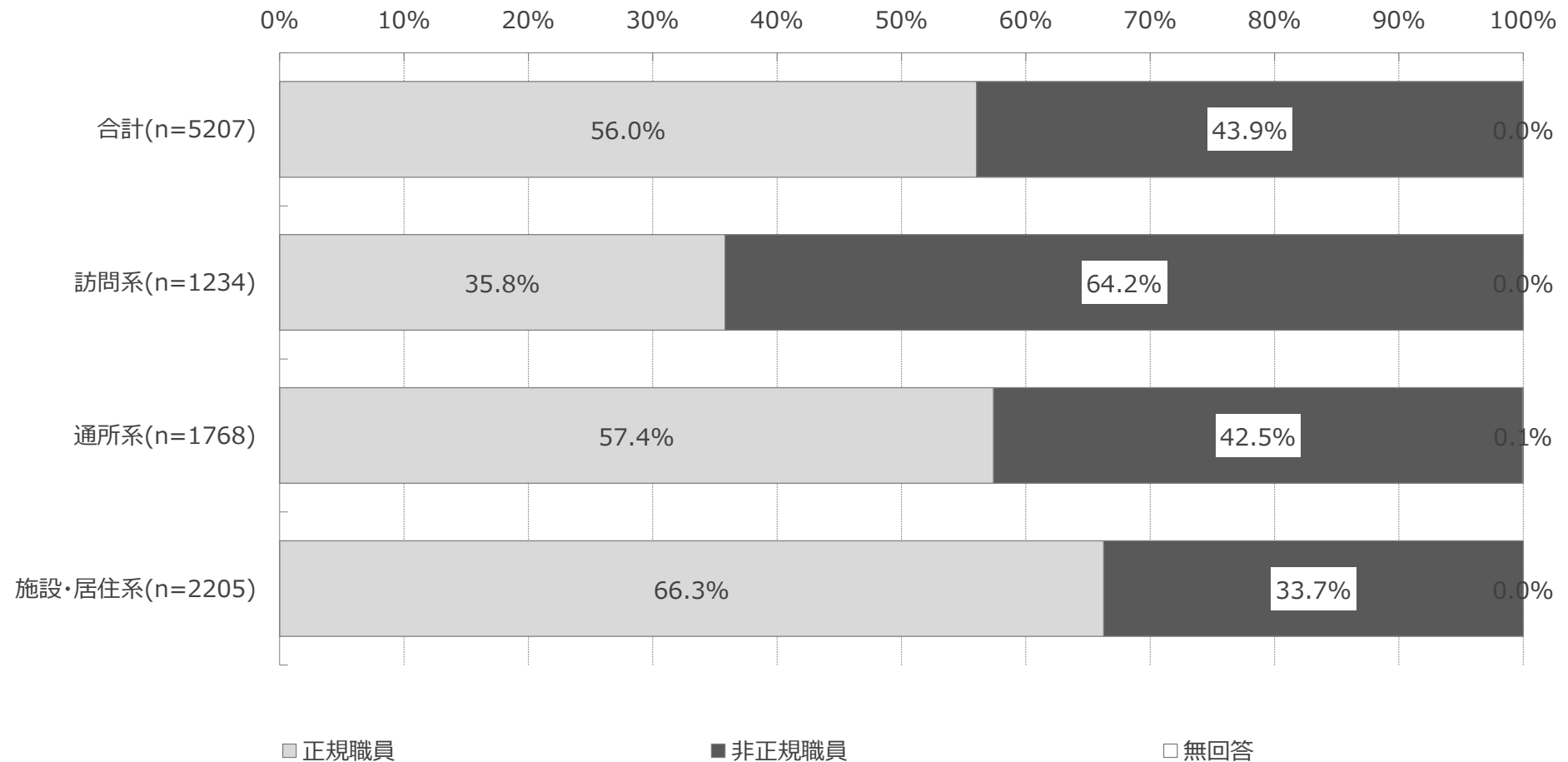
**注意！ 全体的にサンプル数が少ないため、統計としての信頼性は検証が必要。**

**それでも、平成29年の全国データを国が分析した結果とおおむね同じ傾向。**

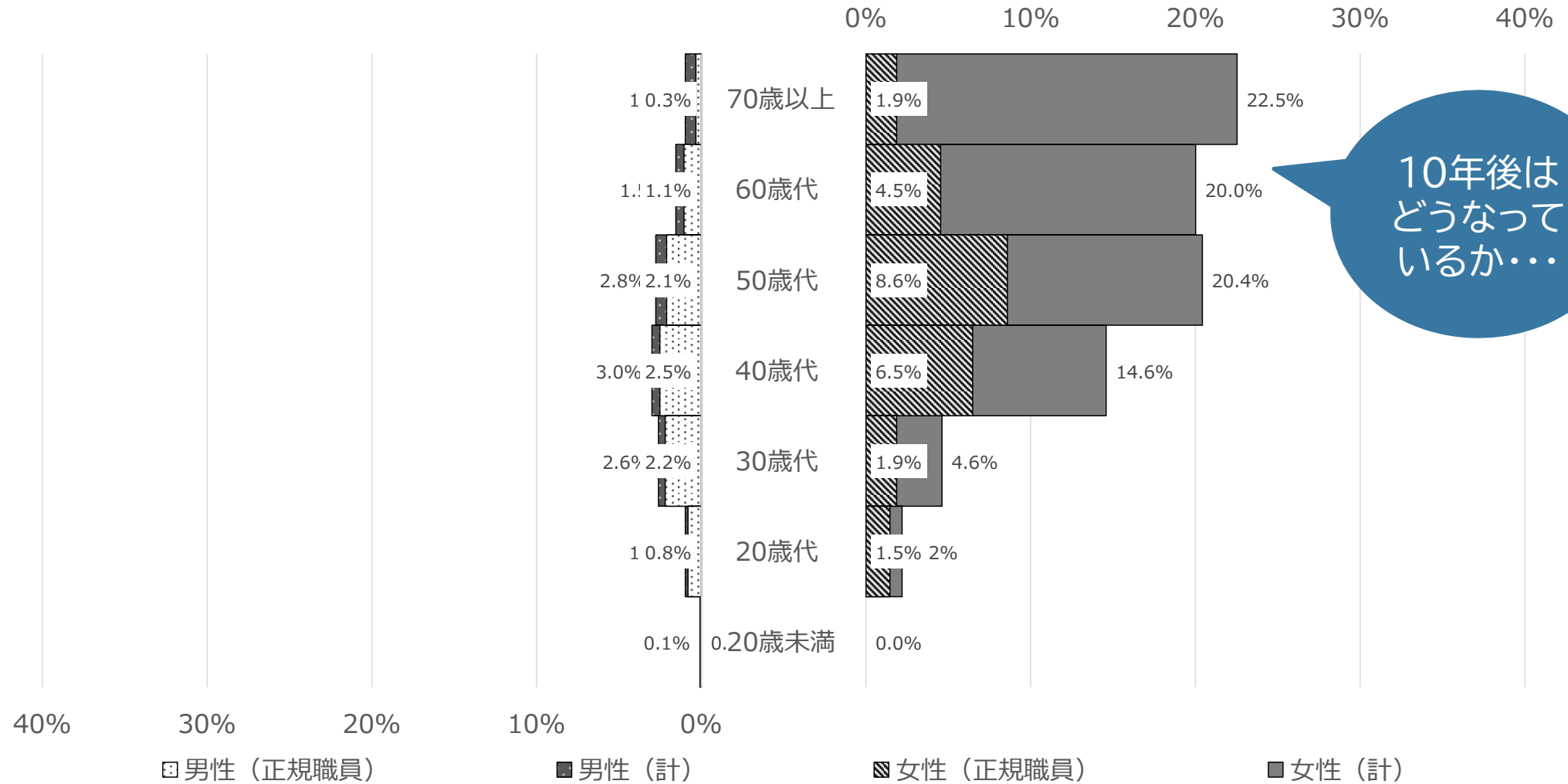
**その他、市場サービス活用状況や、いろいろな支援窓口・サービスの認知度、介護認定申請を行った理由などについて質問しています。**

**集計・分析後、みなさまにお示しします。**

## サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合



性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系、n=1234）





その他、主観的な人材不足感や  
生産性向上に関する意識を問う質問も  
独自に設定しています。

集計・分析後、みなさまにお示しします。

集計結果は参考資料のとおり。  
今後、他自治体データとの比較等により  
「住み慣れた場所で暮らし続ける」ための  
本市の課題を抽出して計画に反映します。